９．合格体験記

「2つの後悔と諦めない心」

山口大学・人文学部・人文学科　　原　口　寧　々

みなさん、こんにちは。私は卒業生の原口寧々と申します。今日は本当にありがたいことに、こうして自分の体験を皆さんにお話する機会を頂きました。結果だけを見れば順風満帆な受験生活を過ごしたような気もしますが、改めて振り返ってみれば後悔も多かったです。今日はその後悔についてこの場でお話したいと思います。

具体的には２つ、やっておけばよかったなと思うことがあります。まず１つ目は、復習についてです。皆さんは今、日本史、世界史、地理、もしくは数学や公民の授業を受けていると思います。この中でどの教科が自分は一番得意か考えてみてください。私は世界史が好きだったため私立大学は世界史で受験しました。その中で私は、受験勉強をしながらずっと、もっと早い時期から世界史を復習しておけばよかったと後悔しました。先ほど挙げた教科は、復習しなければ絶対に点数はあがりません。例え全てを復習することができなくても、この分野なら得意だな、理解できるな、と思える範囲があれば、少しずつ積み重ねる内にだんだん点と点が線で繋がっていきます。この積み重ねが後でみなさんの大きな力となるはずです。

2 つ目は、自分に甘く居続けたことです。私は寝たり、遊んだりするのが本当に好きで、今まで勉強を疎かにしたり課題を終わらせていなかったりしたことが何度もありました。特に 2 年生の 3 学期は自分で今思い返しても最低でした。私はこの話を、だらけていても大学に合格できるという体験談にしようとは思っていません。このツケは後で必ず回ってくるようになっています。今日はつかれたからもう寝よう、明日の朝起きてやればいい、そんな考えは今思えば本当に甘すぎたと思います。受験までに残された時間は、だれに対しても平等に与えられているからです。だらければその分、あとで何倍にも積み重なって降りかかってきました。私は部活動が落ち着いてクラスが受験の雰囲気になったのをきっかけに勉強をスタートすることができ、次第に勉強の習慣を身につけました。一緒に頑張れる仲間はとても大事だと思います。その仲間とともに、1 時間でも、30 分でも、単語を１つ覚えるのでもいいので、私みたいに何もしない自分で居続けないでください。

最後になりますが、私はずっと色んなことを後悔しながら勉強していたわけではありません。受験が終わった時、本当にやっていて良かったなと感じたことが１つあります。そしてこれこそが、自分の受験においてすべての鍵を握っていました。それは、諦めないことです。勉強をしていて、時間や精神的に追い詰められると、今までの勉強も全部意味がないような気持になったり、自分に苛立ったりしました。なかなか上がらない成績や、どんどん進路が決まっていく周りの友達、些細な環境の変化にさえ焦りを感じていました。そんな時こ

そ私は自分のやりたいことや目標をもう 1 回思い出して、その目標を達成できた時の嬉しさを想像することでもうちょっと頑張ろうと自分を勇気づけました。1 日何も出来ず立ち止まってしまっても、諦めなければ後ろに下がることはありません。結局最後まで自分を奮い立たせてくれるのはその気持ちだけです。私も大学に入って受験期に感じた色々な気持ちを忘れずにたくさんのことを吸収して成長したいと思います。みなさんも夢を諦めないという強い志といつも支えてくれる両親や先生方、友達への感謝を忘れずに目標に向かって突き進んでください。

ここまで読んでくださってありがとうございました。これからのみなさんの学校生活や受験を応援しています。

「伝えたいこと」

佐賀大学・教育学部・中等教育主免専攻　　緒　方　希　歩

私は、皆さんに実体験を踏まえて受験で大事なことを伝えたいと思います。

一つ目は大学の入試制度を確認しておくことです。その大学を最大何回受けられるのか、何が加点の対象になるのかなどを調べておきましょう。早い段階から進学を検討している大学の入試制度を知っておくと、ボランティアや英検などで自分に有利なように事前の対策ができると思います。

二つ目は、自分に合った学習環境やモチベーションの上げ方を見つけることです。人によって一人のほうがいい人や友達と一緒のほうがいい人、家のほうが集中できる人や環境が変わったほうがいい人など様々だと思います。私は家だとすぐに集中力が切れてしまっていたので、学校など家以外の場所で勉強するようにしていました。早いうちに自分に合った環境を見つけることが大切だと思います。また、自分の中で身近なライバルを作ることも効果的です。私は模試の結果に一喜一憂してしまって、やる気をなくすこともありました。そんなとき、自分と競う成績で、自分よりも一層勉強しているだろう人の顔を思い浮かべるようにしていました。そうすることで、「ライバルに負けたくない」という気持ちが沸きあがって、自分を追い込むことができました。

三つ目は、積極的に教え合いの機会をもってほしいということです。模試や入試は当然、受験生が難しいと感じる所を出してきます。しかし、そのような問題も基本をしっかりと理解していれば、解けるものも多いです。そこで、理解を確かめるためにも、分からない人に教えてください。人に説明できない所が自分の怪しい所です。そこを重点的に復習すれば、効率よく勉強できます。このように教え合いは教えてもらう側だけでなく、教える側にも良いことがあります。

受験の日はとても緊張すると思います。前もって準備して、焦らないようにしましょう。

私は受験日本番にバスを間違え、気づいたら知らない場所にいました。どうにか間に合いましたが、試験中も汗が止まりませんでした。皆さん、本当に気を付けてください。終わるまで何があるか分かりませんが、最後まで諦めずにがんばってください。応援しています！

「受験で役立ったこと」

広島大学・理学部・化学科　　池　尻　朱　音

私が受験で役に立ったことを３つ紹介します。

１ つ目は、勉強をルーティン化し、それを乗り越える忍耐力が身に着いていたことです。私は９限目の後、入試の指導を受け家に帰り、夕食とお風呂を終わらせ就寝。そして４時に起きて７時まで勉強するというルーティンを行っていました。受験までの一か月強はとても辛かったのを今でも覚えています。しかし、私はバスケで培った忍耐力があったので乗り越えられたのだと思います。勉強をルーティン化してみたり、部活動などを最後まで熱心に行ってみたりしてみてください。

２つ目は、周りの支えがあったことです。私には同時期に受験を控えた友達がいました。一緒に帰る時に励まし合ったりできる友達の存在はとても大きかったです。また何度も私のことを気にかけ、指導してくださった先生方、毎日ご飯を作り、話を聞いてくれた家族。たくさんの方の支えで私は受験を乗り越えられたのだと思います。皆さんは決して一人ではありません。必ず支えてくれる人が近くにいます。頼ってみてください。

３つ目は、自分に合った勉強法を行ったことです。私は一人で勉強する方がはかどるので家や図書室で勉強していました。わからない問題や単語に付箋を付けその付箋がなくなるまで何度も解き直しました。始めた頃の付箋ばっかりだった問題集が付箋が全くない問題集になった時、自分はこれだけ頑張ったという自信に繋がりました。たくさんの問題集に手を出すのではなく同じ問題集、単語帳に取り組むことをお勧めします。さらに学校の定期試験にも本気で取り組んでください。推薦やAO入試はもちろん様々な入試で通知表がとても重要になってきます。私は考査前の休日は8～10時間、最低でもテスト範囲が8～9割分かるというところまで勉強していました。定期試験で点数が取れるということは基礎ができているということです。まずは定期試験を頑張るところから受験勉強を始めてみてはどうでしょうか。

最後に私の好きな言葉を皆さんに送りたいと思います。「努力に勝る天才なし」努力は皆さんの自信と成長に繋がります。私の話が皆さんの受験の役に立てれば嬉しいです。皆さんのご活躍を願っています。頑張ってください。

「受験に向けて」

佐賀大学・医学部・看護学科　　梶　田　恭　加

私は推薦入試で佐賀大学に合格しました。受験を終えてみて、早くから取り組んだ方がいいなと思ったことを勉強すること以外で二つ紹介します。

一つ目は、学校行事やボランティア活動などに積極的に参加することです。その時考えたことや感じたことが今までとは違った考えを生み出したり、将来学びたいことを決定づける理由になったりします。私は海外研修や生徒会、ボランティア活動等に参加しました。その時苦労したこと、上手くいったこと、話を聞いて感じたことが将来やりたいことを具体的に意識したり、自分の考え方について考えさせられたりするきっかけになりました。推薦入試は一般入試よりも今後学ぶことへの熱意や考え方で判断される要素が多いです。そのため早いうちから様々な経験を通して自分の考えを養い、将来なりたい自分のイメージを持つといいと思います。そうすれば今何をしておくべきか見えてくるはずです。

二つ目は、受験方法をよく考えることです。受験方法は大学や学部ごとにたくさんあり、人によって合う、合わないがあります。私が受験したような推薦入試は共通テストとテスト形式が違うため、共通テストに向けた勉強と推薦入試に向けた勉強を両立しなければいけません。共通テストに向けた勉強は押さえておきたいところが多すぎて、正直終わりが見えませんでした。そして自分が推薦入試に向けた勉強をしている間も周りのみんなは共通テストに向けて勉強していることは想像以上にメンタルがやられそうになります。推薦入試を受けることで通常よりチャンスが増えるのは事実ですが、一般入試に絞って勉強を続ける方がいいこともあるのでしっかり考えるべきだと思います。

受験勉強はつらいことだらけだと思いますが、家族や先生方、一緒に頑張っている友人たちはきっと支えになります。最後まで諦めず頑張ってください。応援しています。

「大切なこと」

西南学院大学・外国語学部・外国語学科　　蒲　池　優　奈

私からは自分が受験を通して大切だと感じたことをみなさんに伝えたいと思います。今から伝えることが少しでもみなさんの役に立てば幸いです。私は西南学院大学に推薦入試で合格しました。皆さんの中には推薦で大学に行こうと考えている人も少なくはないと思います。そこで、推薦入試を受ける上で大切だと思ったことを伝えようと思います。私が思うに１番大切なのは評定だと思います。まず一定以上の評定を持っていないと推薦入試

を受験できない大学がほとんどです。したがって、推薦入試を受けたいと思っている人は今のうちにコツコツと勉強しておくことをおすすめしておきます。私はもともと推薦入試を受けようとは思っていませんでした。今は受けようと思っていない人でも、私のように受けるかもしれないので、日々の小テストから期末テストまで小さなことも大切に積み重ねていってください！

次に大切だと思うことは、自分の将来のことを明確に考えておくことです。推薦入試では面接がありますが、私は自分が行く学部と将来の夢との関係性について質問されました。将来の夢がない人も少なくないと思います。それは普通だと思いますが、面接では将来の夢は良く聞かれることなので、定まっていない人も仕事について今のうちに調べておくと自分の将来設計を立てる上でも役に立つと思います。なぜその職業に就きたいのかということを様々な面から考えることで、その仕事のことを深く知るだけでなく、社会問題とのつながりなども見えてきます。そうしているうちに、本当にやりたいことが見つかるかもしれません。

みなさんはこれから辛いことがたくさんあると思いますし、部活動との両立など様々な悩みも出てくるかもしれません。受験にかかわらず何事も結果が全てのように考えられていますが、努力の過程が何よりも大切だと思います。自分自身に悔いが残らないように頑張ってください！私も応援しています。

「受験勉強を通して」

北九州市立大学・外国語学部・英米学科　　中田　麻結

私は受験勉強を通し、大切だと感じた二つのことを伝えます。

一つ目は、受験勉強へのモチベーションを最後まで高く保ち続けるということです。受験勉強を通して私の一番の心の支えとなってくれたのは、その大学に行きたいという強い意志でした。この意志を最後まで持ち続けるためには、自分が本当に行きたいと思える大学や学部を見つけ、自分自身がその進路に積極的になれるかどうかが鍵となります。受験勉強は決して楽ではないし、どの進路を選んだとしても課外や模試の数は増えます。どうせ勉強するのなら、適当に選んだ進路よりも自分が興味のある所を自分自身で決めて目指す方がやる気に繋がり、最後まで責任を持って頑張れます。志望校や興味のある大学を見つけたら、入試制度や活用できる資格試験等も知っておくと、受験可能な枠を増やせる可能性があるので一度調べてみることをおすすめします。

二つ目は、先生に頼るということです。私の受験した入試は、英検の準１級の取得が受験条件でした。その条件をクリアするため、過去問や予想問題集を繰り返し解きました。様々な問題集に取り組むのではなく、１冊を極めるのがおすすめです。また、CBT も積極的に受

験し、受験の機会を増やしました。私の大学入試は、調査書と英語による面接で合否判決が成されるもので、先生との実践練習が必須でした。そのため、朝は早くから放課後は最終下校時間まで、学校にいる間は時間を見つけてはとにかく先生の元へ通い指導していただきました。臨機応変に対応できるよう、特定の先生とだけでなく、様々な先生に指導を申し込むことを心掛けていました。皆さんも、分からない問題や相談したいことがあったり、面接や小論文の指導が必要な時は経験と知識豊富な先生方を頼ってみてください。熱意を持った姿勢で取り組んでいれば、解決のために真摯に向き合ってくださるはずです。

受験勉強は大変ですが、モチベーションを高く持ち、時には先生や友人に支えてもらっていけばきっと乗り越えられます。最後まで頑張ってください。皆さんの合格を心から祈っています。

「受験で大事なこと」

九州工業大学・工学部・工学２類　　槇　謙　吾

僕が受験で大事だと思うことを紹介します。

一つ目は「試験について調べる」ことです。調べることは大学ごとの共通テストの配点と入試の方法についてです。国公立大学では共通テストは必須で、各科目の配点が大学によって違うということを自分で調べて初めて知りました。それを知っておくと配点が低い科目よりも配点が高い科目の勉強により多く取り組めばよいので受験に有利です。入試の方法は推薦入試や総合型選抜もあるし、私立大学では共通テスト利用や併用での入試があってそれらを知っていれば合格のチャンスが広がると思うので、調べておいた方がいいです。もしも分からないことがあったら受験を終えた先輩に聞くのが一番いいと思います。

二つ目は「一緒に勉強を頑張れる人、ライバル的な人を見つける」ことです。なぜなら、お互いに高めあえるからです。また、国公立大学を受験する人は特に、周りの人が自分より先に受験を終えているのを見ると一人でモチベーションを保つのが難しいこともあると思うので、そのような存在が大事です。私は特にモチベーションの面で助けてもらいました。

三つ目は「自分に合った勉強法を見つける」ことです。例えば英語の勉強で、単語をとにかく書いたり声に出したりして覚えるというやり方は自分にとっては効果がありませんでした。また、参考書も特に買わずに勉強しました。英語については共通テストでは文法問題は出題されないので、単語とイディオムにしぼり、分からない単語をノートに書き赤シートを使って隠しながら覚えました。また、共通テストのリーディングは絶対に時間が足りないので、時間配分の練習をしたり、本文より設問を先に読んで素早く解けるように工夫したりしました。理数系の教科は教科書を読みこむと役立つことが書かれているので一度はきちんと読んだ方がいいと思います。あとは、苦手科目をなくすことが一番早く点数を上げる方

法だと思うので、苦手科目を頑張った方がいいです。

最後に、受験の結果より努力した過程の方が大事なので、自分なりに頑張ってください。人それぞれ頑張りの限界があると思うので、自分のできる量勉強すればいいと思います。部活が終わってからではなくて、今のうちに勉強して習慣をつけておくと楽です。部活動でどうしても余裕がなくても、考査期間くらいはしっかり勉強しましょう。

「ふせんと質問と勇気」

福岡女子大学・国際文理学部・食・健康学科　　大　川　愛　美

自分でも変なタイトルだとは自覚しています。ご容赦ください。

私は福岡女子大学に推薦入試で合格しました。入試形態は、個別学力試験はなく、共通テストと面接と提出書類で合否が決まるというものでした。私からは、実際にやっていた勉強法とわからないことへの向き合い方についてお話したいと思います。

まず勉強法についてです。私は「ふせんノート」を作り、活用していました。まず 100 均などに売っている少し大きめのふせんを用意します。そこに自分が間違えた内容や、わからなかった単語などを書き込みます。それらをノートに張り付け、その後わかるようになったらそのふせんは捨てます。そうやっていくうちに自分の苦手だけがノートに残っていき、苦手つぶしがしやすくなります。この方法で一番大事なことはなんでもかんでも書き込まないことです。わかっている内容まで書いてしまうとどれが重要かわからなくなってしまいます。本当に苦手なことだけを詰め込んであげましょう。私は模試の前には参考書よりもこのノートを見直していました。ぜひやってみてください。

次にわからないことへの向き合い方についてです。はじめに断言しますが、「わかりません」と「教えてください」が言える人は強いです。絶対に伸びます。（もちろん、闇雲に言うだけではなんの意味もありません。）皆さんの中には「職員室ってハードル高いなあ」とか「先生に質問って行きづらい…」と思っている人も多いかと思います。私も２年の１月まではそうでした。できないことを知られたくないという思いがあったのだと思います。しかし、今のままの自分に成長はあるのか？と自問自答し、先生方のもとへ通うようになりました。そのときに意識していたことは２つです。１つはどの部分がなぜわからないのかを明確にすること。もう１つは単語などの知識事項はあらかじめ調べて、頭に入れてから行くこと。こうするようになってから、英語と生物の成績が特に伸びました。（しつこく通っても対応してくださった先生方、本当にありがとうございました。）

皆さんも解答・解説だけでは理解できないところがあるはずです。そんなときこそちょっとだけ勇気を出して職員室に行ってみてください。きっと先生方が真摯に答えてくれます

よ。
　最後になりましたが、この文章が三養基高校の皆さんの役に立てば幸いです。がんばってください。読んで頂きありがとうございました。

「未来を見据えて」

佐賀県警　　江　口　凌　雅

　私は、武道指導枠で佐賀県警に就職しました。三養基高校の生徒の大半が大学などに進学する中で、私が就職を選択した理由は、小さい頃から警察官という職業に憧れていたからです。私は小学生の頃まで山口県に住んでいて、習い事として剣道を始めました。中学校に入学すると同時に祖父母の住んでいる佐賀県に、親元を離れて住むことにしました。その理由の１つは、高校を卒業してから剣道の実技を活かして試験を受けることができる、武道指導枠という受験制度が佐賀県に１枠あるからでした。皆さんも将来の目標が決まっている人と、まだ決まっていない人がいると思います。決まっている人は、具体的にどの大学、学部に行くことが将来の目標実現に適しているかよく考えてください。また、将来の目標が決まっていない人でも大学に行って目標を見つけることはできるので、今の時期に多くの大学を調べて本当に行ってみたいと思う大学を見つけておいてください。
　私と同じように高校を卒業して佐賀県で公務員になりたい人はぜひ部活動を引退して、２、３か月でいいので公務員専門学校に行ってください。公務員試験は時間との勝負です。専門学校に行くことで、簡単にすばやく解く方法などを教えてもらえるし、過去問でのテストも受けることができるので、自分の行きたい就職先で出る問題の傾向が分かってきます。佐賀県警の場合、判断推理と数的処理が多く出ていたので、その２つを重点的に勉強しました。
　試験においては、２次試験もとても重要でした。半分以上が２次試験で落ちるので、何か質問されても完璧に答えられるようにし、立つ姿勢や座る姿勢、声の大きさなどまで何度も練習しました。私は山口県と佐賀県の両方を受けていて山口県の試験が最初にありました。そのおかげで、公務員試験がどのような雰囲気なのか分かり、佐賀県での試験を受験する際はあまり緊張することなく受けることができました。

皆さん、今の余裕があるうちにしっかりと進路の事を考え、学校生活を過ごしてください。

「受験に備えて」

佐賀大学・理工学部・理工学科　　光　永　乙　葉

今年の共通テストは例年と比べ難しいものが多く、とても不安な思いになった受験生が多くいたと思います。私もそのうちの一人でした。

まず、私がやっておいて本当に良かったと思うことは、英検の取得です。私は英検２級まで取りました。英語の資格を取得することによって共通テストや入試の英語の得点に換算できる大学があります。スコアで判定する大学もあるので要チェックです。英語の換算があるかないかで志望校が大きく変わります。また、大学では文系はもちろんですが、理系でも英語の研究論文を読んだりするそうです。だから英語の資格を取ることに損はないと思います。

学習に関してはまず、ひとつひとつの課題をきちんとすることが大切だと思います。私は部活に所属していなかったため、放課後は部活をしている人より時間がありました。その時間を課題を丁寧にする時間として過ごしました。課題は基礎となるものから多く出されているので、課題をしっかりすることで基礎を身につけることができると思います。

受験内容は高校で習った範囲が出ます。つまり、一年生で習ったことも出るので、受験勉強は早めからしておいたほうがよいです。特に数学は解き方を忘れた頃にテストに出るので忘れないように復習をしてください。

勉強面ばかり伝えることになりましたが、大学進学や就職など、目標は人それぞれ異なります。だから、個人個人の目標に向けて頑張ることが大切だと思います。高校三年間は本当にあっという間です。コロナ禍の現状で我慢することがたくさんあるけれど、生徒の皆さんには高校生活を楽しく、そして後悔なく過ごしていただきたいです。

「不合格を乗り越えて」

佐賀大学･経済学部･経済法学科　　大　久　保　莉　乃

模試の判定も悪くはない。簡単に合格するだろうと思っていました。しかし、推薦入試 不合格。現実の厳しさを感じました。そして長くてつらい受験期を乗り越え、私は一般入試で合格しました。この私の経験から皆さんに伝えたいことが２つあります。

１つ目は時間の上手な使い方を身につけて欲しいということです。私は推薦入試でかなり

時間を取られ、十分な勉強時間を確保することが難しい状況に直面しました。そんな中、私は通学時間、休み時間を必ず勉強に充てようと決めました。例えば休み時間は1回たったの10 分ですが、1 日で全ての休み時間を勉強に当てた場合 1 時間の学習時間を確保することができます。さらに通学時間や昼休みを合わせると 2 時間近くは隙間時間を使って学習時間を確保出来たのです。部活動に追われ十分な学習時間を取れていない人が多くいると思います。そんな皆にもこの方法はとてもオススメです。また、私は夜インプットをし、朝アウトプットをするという勉強方法を実践していました。例えば、夜に英単語を 50 単語覚える。そして寝て次の日の朝に自分で確認のテストを行い不確実な単語を覚え直す。この繰り返しを毎日やることで確実な記憶にしていました。

2 つ目は、受験は 1 人ではないということです。推薦入試に落ちた時もたくさんの人に支えられたおかげで最後まで諦めないで頑張り続けようという気持ちになれました。私は、土日も毎日学校に通いつめました。学校には、同じように頑張っている友人が沢山います。そんな姿を見て、何度も力を貰いました。そして、そんな私を家族は応援してくれて毎日お弁当を作ってくれました。また、先生方も親身になって根気強く指導してくださいました。私を最後まで信じてくださって、たくさんの方に助けて貰ったらからこそ合格を勝ち取ることができました。

たしかに、推薦入試から挑戦すると、その準備に多くの時間をとられます。しかし、私にとって推薦入試の受験は志望校への思いを再確認できる素晴らしい機会でした。無駄なことはひとつもありません。受験は想像している以上につらいです。でも周りを見れば多くの人が支えてくれています。常に感謝の気持ちを忘れずに、最後まで夢に向かって走ってください。応援しています！

「伝えたいこと」

佐賀大学・理工学部・理工学科　柴　本　健　仁

私から受験生の皆さんに伝えたいことが二つあります。一つ目は良くない判定に対してネガティブに考えないということです。実は私が受験生だったころに出ていた模擬試験での判定は 11 月までほとんどが E でした。そんな私が大学に合格することができたのは、そのような判定に対してネガティブな考え方をしなかったからと言えるでしょう。ネガティブな考え方をしてしまうと焦りを感じ、勉強の質が落ちたり自暴自棄になってしまったりするかもしれません。そこで、たとえ良くない判定だったとしても深刻に考えすぎないでいきましょう。

二つ目は最後まであきらめず自分を信じ続けるということです。私はこれが受験生にとって一番大切なことだと思います。私は 3 年生になってから毎朝 7 時に登校し朝のホームルームまでの間勉強し、学校が終わってからは夜 11 時まで塾に通う生活を送っていました。

それなのに、模試では上がらない点数、そして変わらない判定でしたが、それでも最後の最後まであきらめずに勉強を続けました。その結果、共通テスト前の最後の模試で点数は急上昇し、判定もＢ判定をとることができました。そのおかげで、あきらめずに努力していれば必ず成果が出るということを確信し、それからの 1 か月間も努力し続けることができました。そして、志望大学に合格することができました。勉強を続けることは確かにきついことが多いです。しかしそれでも最後まで努力し続けることによってその努力は必ず報われるのです。私が挙げた二つのことを心にとめて頑張ってください。応援しています。

「受験を通して伝えたいこと」

島根大学・人間科学部・人間科学科　　松　本　拓　実

私が受験を通して伝えたいことは三つあります。まず一つ目は学校の授業を寝たりしないでちゃんと聞くことです。基本的なことですが特に部活をしている人たちには気を付けておいてほしいことです。私も実際、部活の練習で疲れて授業中に寝てしまったことがよくありました。しかし一、二年生の時に授業でしていることがそのまま受験勉強の時の基礎になるので、そこができていなかった私は三年生の受験シーズンになってとても苦しむことになりました。だから皆さんは今のうちに基礎をしっかりと固めておけるように授業中に寝ないでちゃんと受けてください。今そのことができているだけで三年生の時の苦労が大分減らせると思います。

二つ目は勉強する場所についてです。僕のおすすめは学校のオープンスペースの廊下側の大きい机があるところです。なぜおすすめなのかというと、廊下側は人がよく通るので常に人に見られている状況になります。そこで「わざわざオープンスペースに来てさぼっているのか」と思われないようにしようと自分に言い聞かせることで、勉強する姿勢を作るようにしました。さらに、その場を通る人たちや、先生方からも声をかけてもらえるためいろんな人に応援されているのだという気持ちになれてモチベーションが上がり、最高の状態で勉強ができるようになりました。これはあくまで僕の場合です

が、自分に合った環境で勉強をするだけで集中力がすごく大きく変化するのでみなさんも自分に合った場所を見つけてみてください。

三つ目は眠かったら夜にしっかり寝ることです。これは人によっては寝る時間も惜しいからエナジードリンクを飲んで目を覚まして勉強するという人もいるかもしれませんが、僕はしっかり寝ることをおすすめします。僕は遅くまで起きてめちゃくちゃ眠たい状態で勉強しても全然身に入りませんでした。眠かったら無理しないでしっかり寝ることで一度リセットして次の日から集中して取り組めるようにしたほうがいいと思います。

最後に今後苦しいことが起きたら自分だけで抱え込まず友達や先生方を頼ってみてください。僕も先生方にたくさん助けて頂いて大学に合格することが出来ました。自分のことを分かってくれる人がいるんだと思えるだけでとても心強いものです。これから皆さんが活躍することを願っています。頑張ってください！

「受験を終えて」

熊本大学・工学部・材料科学工学科　　千　々　岩　翼

こんにちは。今日は受験勉強について、自分の経験を踏まえて、みなさんの手助けになることを伝えることができればと思います。まずは勉強時間についてです。私は部活動に入っていなかったので２年生の時、平日は放課後に残って物理の問題を解いたりして３～４時間を目標に、休日は 10 時間を目標にしていました。3 年生では、平日は難関大講座の後、家に帰って 3 時間を目標にし、休日は 13 時間を目標にしていました。部活や趣味で勉強時間の確保は大変だと思いますが、学習の習慣を身に付けておくことは大切です。学習の習慣を身に付けておくことで、勉強に対しての抵抗感を少しはなくすことができると思います。そのためには、授業に一生懸命取り組むことが大事です。理系科目では、一度に内容を把握することは難しいので、授業中に分からない箇所にマークを付けたり、周りの友達や担当の先生に質問をすることで苦手な所をなくしておくことをお勧めします。また、自分が理解できているか不安な時は先生に確認してみることも方法の一つだと思います。学習する内容に関しては、計画を立てることが大切です。2 年生では、授業で難しいと感じた所を重点的に見直し、模試の勉強を優先して、国公立を目指す人は、二次試験の問題の対策を始めた方が良いと思います。3 年生では、赤本や志望校に必要な内容を集めていく必要があります。全学年共通ですが、模試のやり直しは必ずするように心がけてください。模試のやり直しをすることで、自分のすべきことを確かめることができます。英単語は志望校レベルの内容を 3 年生の夏休みまでに身に付けておかなければ共通テストや二次試験で英語が足を引っ張

ることになります。3年生の夏休み後は共通テストの多くの教科の勉強や二次対策に追われるので、この時期になって英単語や基礎からの勉強を始めると、やらなければならないことに手が回らなくなるので注意した方がいいと思います。私は休みの日の学習は 1 時間ずつ教科を変えるのではなく、２～３時間ほど同じ教科に取り組み、その間に少し休憩を入れる方法をお勧めします。その際は、勉強する教科の問題を前日に決めておくのが良いと思います。最後に、受験の方式は一つだけではないので、しっかりと情報を集めて推薦入試を視野に入れておくことも一つの手だと思います。自分が希望する大学に行くために必要なことを考えて学校生活を送ってください。最後まで読んでいただきありがとうございました。

「自分のやりたい事へ強い熱意を持つ大切さ」

久留米大学・医学部・看護学科　　馬　場　優　花

私は、推薦入試で久留米大学に合格しました。私が受験を通してみなさんに伝えたいことが２つあります。

１つ目は、１年生の早い段階から色んな大学のオープンキャンパスに参加して欲しいということです。実際に生で見ることで、パンフレットやネットからは知ることの出来ない、その大学の良さを見つけられます。

私には、小さい頃から「看護師になりたい」という夢がありました。しかし、特別行きたい大学がある訳でもなく、久留米大学のオープンキャンパスがある、という情報を耳にして当時は何となく行ってみよう、という感覚で行きました。

しかし、実際にキャンパスを目にすると、写真で見るより何倍も整った外観や設備に圧倒されました。また、大学内で先生方や先輩方と交流ができ、大学内の雰囲気の良さを感じることが出来ました。実際に行かないとこれらの良さを知ることは出来ませんでした。オープンキャンパスに行って初めて私は、「久留米大学に絶対行きたい」という強い熱意を持ちました。

その強い熱意があったからこそ、辛い受験勉強を乗り越えられたのだと思います。

最初から「自分はこの大学のレベルに達していないから行けない」と諦めてはいけません。学力は、自分の努力次第でどこまでも伸びます。「行ける大学」じゃなく「行きたい大学」を目指す事が大切です。

２つ目は小さな努力でも諦めず続けることです。ベタかもしれませんが、絶対にプラスになるものがあります。

私は公募推薦で受験だったので、必ず合格する保証はなく、推薦入試対策と一般入試の勉強を並行して行っていました。特に、推薦入試の時期が近づくと、推薦入試対策が本格化することによって一般入試の勉強時間が十分に取れなくなっていきました。

しかし、私は前々からコツコツ勉強を続けていた為、土台がある程度仕上がっていて、推薦入試前の時間がない中でも苦手な単元のみに集中するなど効率のよい勉強ができました。みなさんも諦めずに小さい事でも努力を積み上げてください。結果が出ないからと焦らず、辛抱強く努力し続ければ、ある時突然結果が表れます。

諦めず頑張り続ければ必ず明るい未来が待っています。応援しています。